

午後例会のチャンティング 1 (はじめの祈り)

会のはじめは 瞑想 の順に進みます

ヴェーダの祈りより 1 番

オーム	ハ	ナー	バ	ヴァ	トゥー	ノ	ハ	ブナク	トゥー
	サ					サ			
サー	ハ	リヤン	カラヴァー	ヴァハイ					
	ヴィー								
デージャス	ヴィ	ヴァ	タマス	マー	ヴィツ	ヴィ	ヴァハイ	イー	
	ナー		トゥ			シャー			
オーム	シャーン	シャーン	シャーン	ティ	ヒ	ハ	リ	オーム	
	ティ	ティ					ヒ		

ヴェーダの祈り 1 番の意味

ブラフマンが教師と弟子の両方を導いて下さるように。
 「主」が、私たち双方を養って下さるように。
 私たちが豊かな活力をもって、ともに働くように。
 私たちの学習がたくましく実り多いものであるように。
 愛と調和が、私たちの間に宿るように、どうか私たちを見守りください。
 オーム。平安あれ、平安あれ、平安あれ。

この祈りは、聖なる本を読む前、仕事(作業)を始める前などによく唱える祈りです。

普遍の祈り

アサ	トーマー	サド	ガ	マ	ヤ	タマ	ローマー	ジョー	ティル	ガ	マヤ
ムリツ	トヨールマー	アムリ	タム	ガ	マヤ	アーヴィ	ラー	ヴィール	マ	イー	ティ
ルツ	ドラ	ヤッ	テ	ナム	ム	カム	マーム	パー	ニツ	ヒ	ティヤム
							テーナ				

(次にスワーミーの後に続いて少しずつ下記を唱えます)

神様 非存在から 存在へ 導いてください。
 無知の暗闇から 知識の光へ 導いてください。
 死から 不死へ 導いてください。
 私の中に お入りください。
 あなたの やさし顔で 我々を まもってください。

この「普遍祈り」のあと瞑想。 瞑想のあと、下記の祈りを唱えます。

瞑想の後の祈り

オーム	シャーン	シャーン	シャーン	ティ	ヒ	ハ	リ	オーム
	ティヒ	ティヒ					ヒ	